

2019年度 個人研究実績・成果報告書

2020年4月22日

所属・職名	商経学部・准教授	氏名	安藤 崇
研究課題	環境マネジメント・コントロール・システムの理論と実践：内外の統合に向けて		
研究キーワード	環境マネジメント・コントロール、外部環境マネジメント・コントロール、内部環境マネジメント・コントロール	当年度計画に対する達成度	1.目標を超える研究の進展・成果を達成した
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>本年度の主な研究成果は自書出版である。同書は企業が社会環境問題に対して①なぜ、②どのように取り組むのかということの問題意識に、企業システム（環境マネジメント・コントロール・システム）の理論（第一部）と実践（第二部）について論じた。おおむね日本企業においては実践の方が理論よりも先行しているため、第二部では企業の実践を叙述するだけではなく、分析を通じて新たな理論構築を試みた。同書における議論をまとめると次の図表のようになる。</p> <p style="text-align: center;">【図表：環境マネジメント・コントロールの本質】</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 10px;">{</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公式システム：企業間・部門間での競争（環境コスト・投資対パフォーマンスの分析を通して） <ul style="list-style-type: none"> ➔ 環境経営の効率性と効果性 ・ 非公式システム：企業・個人レベルにおける共感（善行の内省を通して） <ul style="list-style-type: none"> ➔ 社会・環境と組織、組織内構成員間の調和 </div> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">筆者作成</p> <p>要するに環境マネジメント・コントロール・システムとは、企業間・部門間の「競争」と、社会や地球環境・組織・個人間の「調和」という異なるベクトル間における「ゆれ動きのマネジメント（伊丹・加護野 2003）」をコントロールするシステムなのである。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【著書】</p> <p>① 『環境マネジメント・コントロール』2020年、中央経済社。</p> <p>② 『1からの管理会計』2020年、硯学舎（*第5章 関西大学大学院会計研究科教授と分担執筆）。</p> <p>③ <i>Sustainability Management and Business Strategy in Asia</i>, 2019, World Scientific Publishing Co.（*第2章担当）</p> <p>【論文】</p> <p>① 「外部環境マネジメント・コントロール・システムの理論」『千葉商大論叢』第57巻第1号、2019年。</p> <p>3. 主な経費</p> <p>ロンドン学会出張費（2019年6月）、国内出張費、本代など。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>特になし。</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">（本文は1ページ以内にまとめること）</p>			